

子どもの貧困対策 全国キャラバン in 富山

「富山県は豊かで住みやすい」と全国的には言われていますが、個々の家庭を覗いてみれば、問題を抱えている家庭があるのではないのでしょうか？

この全国 47 都道府県キャラバンは、子どもの貧困対策推進に向け、各地域の方々と連携して、より充実したつながりをつくることを目的とし、2016 年よりスタートした 3 年プロジェクトです。

富山県の子どもたちの実態を明らかにし、子どもの貧困について理解を深め、みなさんと、できることを考えてみませんか？

▼第一部（全体会） 10 時～ 12 時

主催者挨拶（小河光治・あすのば代表理事）

共催者挨拶（富山県）

パネルディスカッション

『今、富山の子どもの現状は』

パネリスト：柴田 正孝（富山県厚生部子ども支援課青少年係長）

竹脇 直子（富山県教育委員会カウンセリング指導員）

山岸 親史（児童自立支援施設富山県立富山学園前園長）

山岡真奈実（富山国際大学 4 年、SSW・BBS 研究会代表）

コーディネーター：開上滉己（富山国際大学 SSW・BBS 研究会 OB）

一部司会・二部コーディネーター：木戸寛捺（早稲田大学 3 年、あすのば子どもサポーター）
【敬省略】

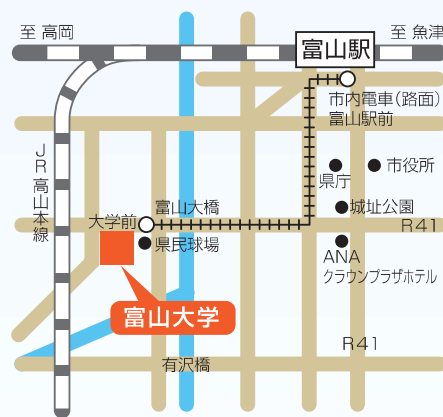
▼第二部（意見交換会） 13 時～ 16 時

【学生レポート】「富山の子ども食堂」 富山国際大学生・富山大学生

○分科会 「今からできる！子どもの貧困対策」／意見交換タイム／学生企画

2017 年
7 月 9 日(日)

会場
富山大学（五福キャンパス）
学生会館ホール



「公共交通機関」をご利用ください。
大学内駐車場は使用できない場合があります。

主催：公益財団法人あすのば

共催：富山県、富山国際大学 SSW・BBS 研究会

後援：内閣府、朝日町（以下申請中）・射水市・魚津市・宇奈月自立塾・オタヤこども食堂・

小矢部市・上市町・黒部市・高岡市・立山町・砺波市・富山県教育委員会・

社会福祉法人富山県社会福祉協議会・富山市・滑川市・南砺市・入善町・氷見市・

フードバンクとやま・舟橋村他（50 音順）

助成：公益財団法人キリン福祉財団

応募方法 あすのばウェブサイト内の申込フォームへ
電話・メールでの応募も可

(<http://www.usnova.org>) ※裏面 FAX 参加申込書

参加費 / 無料 定員 / 150 人

お問い合わせ / 公益財団法人あすのば

〒107-0052 東京都港区赤坂 3-21-6 河村ビル 6F

☎ 03-6277-8199 FAX 03-6277-8519 ✉ info@usnova.org

公益財団法人 USNOVA
あすのば
子どもの貧困対策センター

F A X

(送り状不要)

FAX 03-6277-8519

FAX・ウェブサイト・メールなどでお申し込みください。

E-mail info@usnova.org WEB www.usnova.org

子どもの貧困対策 全国キャラバン in 富山 参加申込書

日時：2017年7月9日(日) 第一部 10時～12時 第二部 13時～16時

会場：富山大学 学生会館ホール(市電富山大学前下車徒歩5分)

参加希望 第一部(10時～12時) 第二部(13時～16時)

ふりがな

お名前

お住まいの市町村

電話

FAX

E-mail

公益財団法人 あすのぼ

子どもの貧困対策法成立から満2年の2015年6月19日に、子どもの貧困対策センター「あすのぼ」は設立・誕生しました。去年4月1日、内閣府より公益認定を受けて「公益財団法人あすのぼ」として、子どもの貧困対策推進に向けてさらなる歩みを進めています。

大きな特徴は、子どもがど真ん中・「センター」のポジションとして、孤立し声を出せない子どもの声を大切に作る運営に努めています。

事業は、①調査・研究とそのデータなどに基づいた政策提言、②全国の支援団体の活動が持続し発展できるような支援団体への中間支援、③子どもたちの自立のために物心両面での子どもたちへの直接支援、の3本柱を担っています。

全国キャラバンは、去年、沖縄県を皮切りに兵庫県・高知県・長野県・栃木県・山形県で開催、合計650人が参加しました。今年は富山県・千葉県・奈良県・香川県・熊本県・岩手県で実施予定です。

富山県のみなさんと共に開催することを通して、自治体・民間団体・大学生他との協力のモデルケースになるような取り組みにしたいと考えています。

富山国際大学 SSW・BBS 研究会

SSWは、School Social Workの略で、その業務にあたる人のことを「スクールソーシャルワーカー」と呼んでいます。子どもたちが直面する苦しみや悩みについて、周囲の環境に働きかけて福祉的なアプローチによって解決を支援する専門職です。活動内容は、富山市生活保護受給者世帯等学習支援事業に参加し、家庭訪問型と「やわやわかフェ」の2つの形で活動しています。

また、BBSとは、「Big Brothers and Sisters Movement」の略で、少年少女たちに兄・姉のような存在として関わり、犯罪や非行を予防していく団体です。大学生の立場だからできることや視点を大切にしながら、「社会を明るくする運動」や多くの更生保護活動に取り組んでいます。